

中野区教育ビジョン(第3次)改定に伴うアンケートの実施結果について 《児童・生徒保護者》

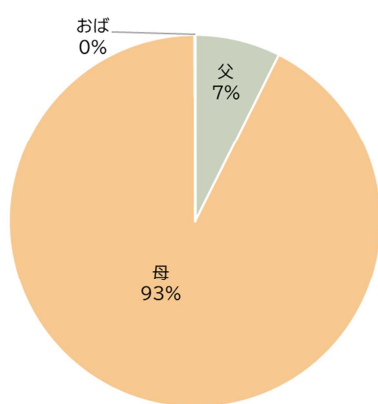
回答期間:令和4年7月14日~8月21日

回答方法:Google フォームのアンケートページから入力

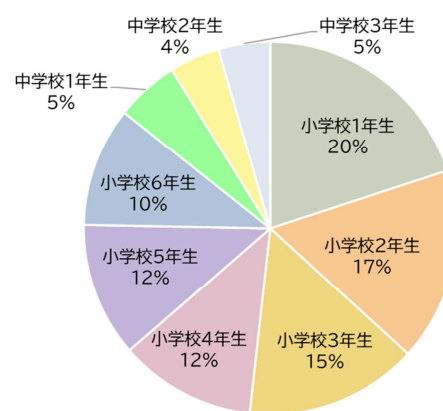
回答数:2,227件

設問数:28問

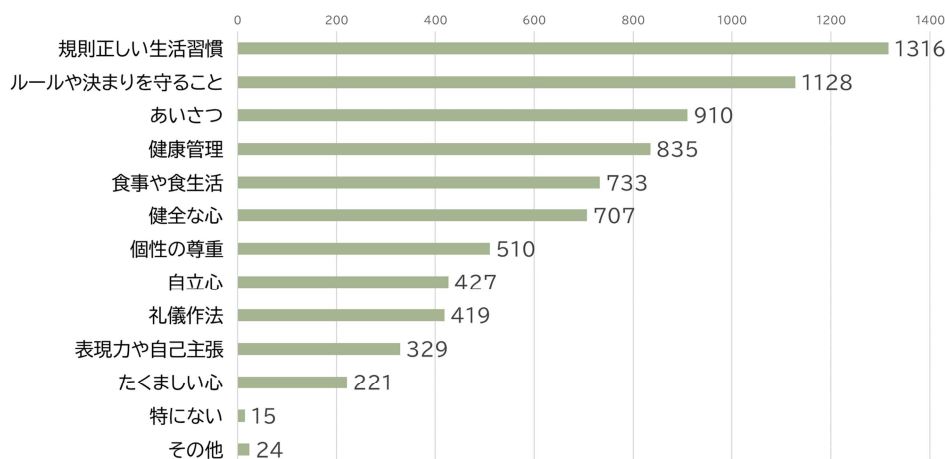
Q1 お子さんとの関係を教えてください



Q2 お子さんの学年を教えてください



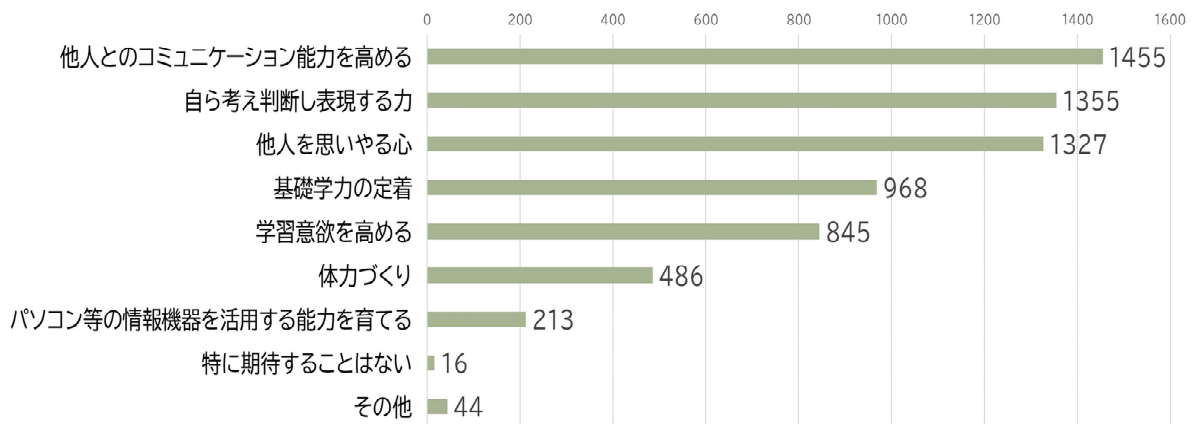
Q3 家庭教育で重視していることは、次のうちどれにあたりますか(あてはまるものに最大3つまでチェックしてください)



その他(自由記述)

- ◆1人の人間としての子どもの意見◆他者への気遣い◆相手の気持ちを想像すること◆愛情◆バランス力
- ◆愛情を伝えること◆思いやり◆自分を大切にすること、自分の好きなことを追求すること◆知能向上
- ◆色々な場所に行き多くの体験をしてもらう事です。◆ともだちとたくさん遊ぶ運動◆他者への優しさ
- ◆人の気持ちを考える◆自己肯定感を高める◆ウソをつかない。正直なこと◆毎日楽しく過ごすこと
- ◆上記全て重視◆自分で考えられる子◆勉強◆優しい心◆思考力◆嘘をつかない

Q4 お子さんの通っている学校に、期待する教育や指導は何ですか(あてはまるものに最大3つまでチェックしてください)



その他(自由記述)

(いじめ)

- ◆いじめへの迅速な対処、対応

(学び・教育)

- ◆学習障害への理解。聞いていなかったわけではなく聞けない障害についての理解。発達障害者の権利擁護について勉強する機会
- ◆インクルーシブ教育
- ◆支援が必要な子が置いてきぼりにならない環境。健康な子は通常級、支援が必要な子は支援級と分けるのではなく、共に学べる環境
- ◆個別最適な学び
- ◆一斉教育ではなく、個性を尊重する方向性の教育を強く希望
- ◆それぞれの能力に見合った学習環境の提供。出来る子にはどんどん上のレベルを目指す環境
- ◆個に合ったスタイルで、自立した学習意欲を持つこと
- ◆日本文化の教育
- ◆座学ではない体験学習。経験値の獲得
- ◆ビオトープなどを活用した自然教育や野菜栽培など体験型学習

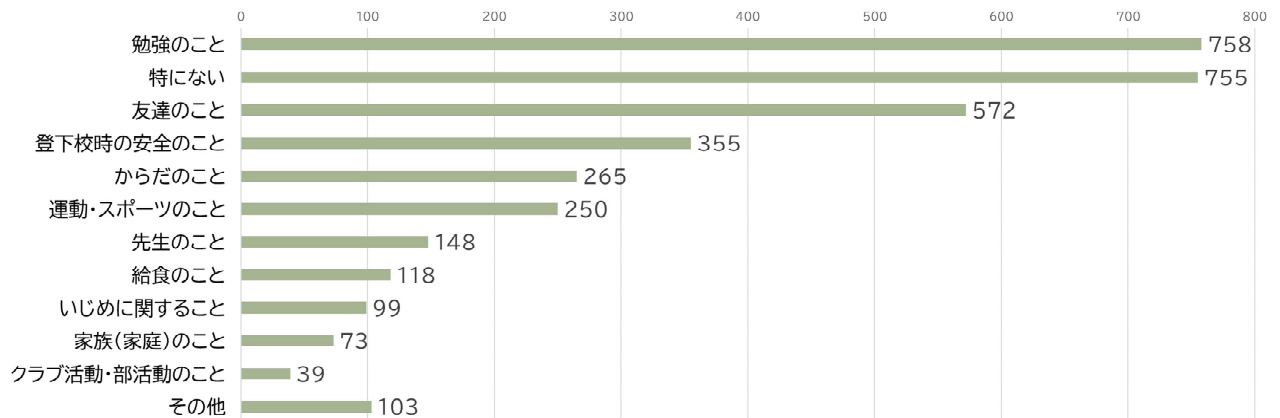
(多様性等)

- ◆それぞれの個性を認める事
- ◆自己・他者の尊厳を大切にできる心の育成と、その為の知識の習得
- ◆自己を確立しながら、異なる考えや価値観の中で人間関係を学ぶ

(その他)

- ◆学校に笑顔で行って笑顔で帰ってくる事
- ◆変に強制しないこと、好きを伸ばす、楽しい学校生活を送ること
- ◆コロナ禍でももっと工夫して出来ること
- ◆お友だちとの関わり方
- ◆大人に守られているという安心感

Q5 あなたのお子さんが最近、困っていることや心配になっていることでお気付きになることがありましたか(あてはまるものすべてにチェックしてください)



その他(自由記述)

(学校生活)

- ◆クラスが落ち着かない、姿勢が悪い児童が多い
- ◆休み時間に何をすればいいか困っている
- ◆プールの授業が男女混合で行われる事
- ◆子供は特定分野に特異な才能のあるギフテッドに該当するため、学習指導要領に沿った学習の進度や範囲が合わず知的欲求が満たされず、ストレスに感じる事が多い
- ◆担当する先生によって、生徒の態度が変化し、授業が滞る教科が出てきているように思う。授業を受けたい生徒にとっては、非常に苦痛でもったいない時間
- ◆特別支援学級に在籍しているが、ほとんどの活動が通常級と隔てられているため、行事などで交流した際にうまく馴染めない
- ◆発達障害のグレーゾーンに対するケア
- ◆特別支援学級に同性のクラスメイトがいなく、同性の子と遊びたそうにしている
- ◆オンライン授業の操作がわからず、授業についていけない

(生活その他)

- ◆インターネット、SNS との関わり方
- ◆タブレット、ゲーム依存の事
- ◆下校後・週末のお友達付き合いにおける、お金の使い方や自転車での移動の安全性について気になる
- ◆物をすぐ失くす、集団行動が苦手
- ◆学校、塾、習い事で毎日とても疲れた顔をしている

(いじめ・不登校)

- ◆時々、登校が不安になる
- ◆学校の初動対応不適により登校機会を奪われている
- ◆中学生になってから、なかなか登校できなくなった
- ◆月曜や休み明けに、よく学校に行きたくないと言う
- ◆安易な気持ちで無視をする友達がいる
- ◆物がなくなる

(健康)

- ◆マスク着用による、心身共に悪影響を及ぼしている
- ◆外遊びの時間が少ないので、できるだけ学校の中休み昼休みも体を動かして遊べるようにして欲しい
- ◆通学時のランドセルの重さに健康被害を感じる

◆登下校時に転んで骨折や怪我したので送迎している。ランドセルが重すぎて大怪我に発展するので中身を減らして欲しい

◆情緒不安定、気持ちのコントロール

(受験・将来)

◆勉強、部活、習い事の両立、勉強と遊びの時間配分

◆中学受験をすることに好意的でないこと

◆進学先の選定、将来への不安

(その他)

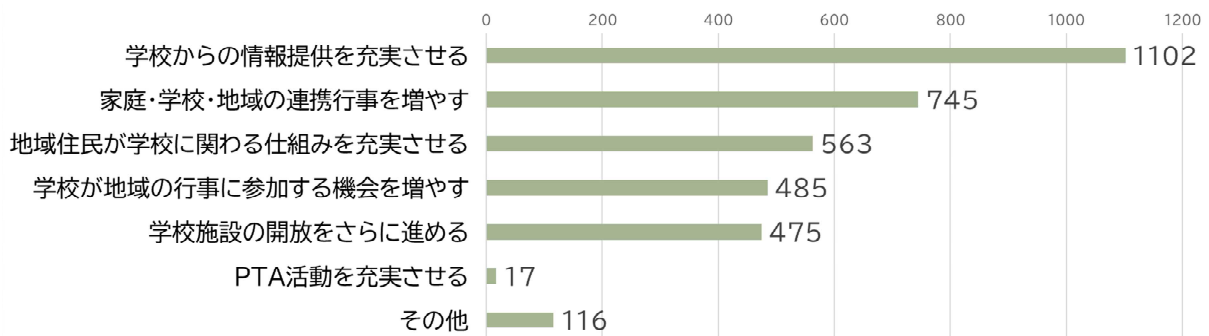
◆戦争、世間の事件事故について

◆漠然とした不安

◆親が仕事の間、夏休みの居場所

◆スケートボードの練習をする場所がない

Q6 現在、中野区では、家庭・学校・地域が連携しながら、家庭の教育力の向上や、幼児期からの教育の推進、地域力を活かす教育を推進しています。家庭・学校・地域が連携していくために、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものに最大2つまでチェックしてください)



その他(自由記述)

(情報交換・情報共有・交流・対話)

◆先生との連絡が連絡帳なので、アプリやメール等で連絡が取れるとよい

◆家庭からも情報を伝えやすいシステム作り

◆双方向の保護者会の機会を設け、意見を伝えやすくする

◆教育委員会の情報発信、活動内容の公開

◆家庭、学校、地域の連携必要性が分かるための広報活動や交流の場を通じた周知活動

◆学童クラブと学校の情報共有や連携を強化したら、より児童の特性など知るきっかけになる

◆保護者と教員が共に学ぶ機会

◆地域や家庭に発表する場を増やす

◆行事を増やすというのではなく、日頃のコミュニケーションの場を増やす。日頃の学校は閉鎖的であり、日頃の対話と信頼関係を構築すること、連携が大切

◆学校とのコミュニケーション機会を増やす

◆保護者、教員、地域住民が日常的にコミュニケーションをとりやすい環境が必要

◆子供が少なかった地域の住民の方々への子供や高齢者等への互いの理解を深める機会が必要

- ◆家庭と学校相互の連結を密にし、個別に対応
- ◆親と学校との関わり方の見直し
- ◆学校が主体の取り組みや発信が重要なのは確かですが、トップダウンなやり方ではなく、合意形成を重視してほしい
- ◆中野区行政がすすめたいハイティーン会議のような子どもが関わるものがあれば、適宜学校単位で参加を募ったり、学校とダイレクトに関わることを増やす
- ◆地域の方々よりまずは父兄同志の横の繋がりと、先生との繋がりをつくるしくみ作りが重要
- ◆土曜日の授業を無くすこと。地域の行事を土曜日にしたり、保護者会、個人面談など保護者が学校に行く用の日を土曜日にする

(連携事業等)

- ◆保護者会や学校公開、運動会の行事等のオンライン配信
- ◆地域住民の見守り活動
- ◆保育園、幼稚園と学校の連携行事を増やす
- ◆合同行事(地域清掃等)を授業に盛り込む
- ◆家庭と学校、学童や放課後デイと学校の連携が取れたら良いと思うけども先生達はとても忙しい事も理解できるので、相談、調整できるコーディネーターの配置
- ◆先生方の負担にならない範囲で、地域との交流を図れる方法があればよい
- ◆先生の仕事がとても多く、負担が大きいので、見守り支援員的なスタッフというか、地域の大人たちの関わりがあるといいなと思う時がある
- ◆中学の部活指導員を地域の大人に依頼して関わりを持つようにする

(PTA活動等)

- ◆家庭や地域の限られた力を効果的に利用するため、万全と続く無駄な活動を減らす
- ◆PTAの業務軽減。学校に関わろうとすると現在のPTAの活動は忙しく逆効果。共働き世帯も多いので時代とかけ離れている
- ◆現状概ね満足。これ以上連携重視のためになにか行事が増えたら、PTA活動も町会活動もキャパオーバーになる
- ◆PTAはアウトソーシングし単純に楽しめるものにする

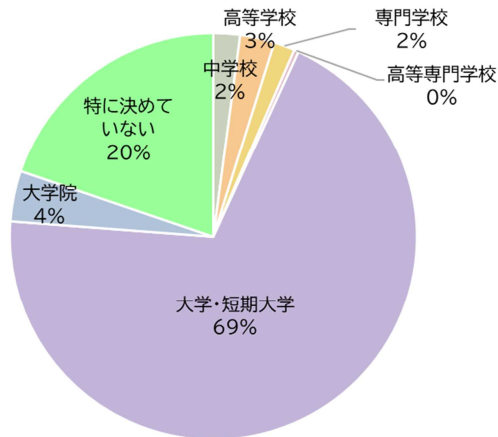
(居場所確保・体験活動)

- ◆子供の放課後の居場所の提供
- ◆未就学児が過ごせる広場を作る
- ◆こどもの遊び場を増やす、地域コミュニティセンターの開放、公園のミストシャワーの設置
- ◆科学館やプールなど子供が楽しめる施設が中野区には少なすぎる
- ◆土日に家族で利用できる屋内施設の提供。運動、工作、読書(マンガ、雑誌)ができる場所
- ◆地域企業による職場体験やコミュニティセンターで開催しているような教室など学校施設を利用した体験教室を増やす

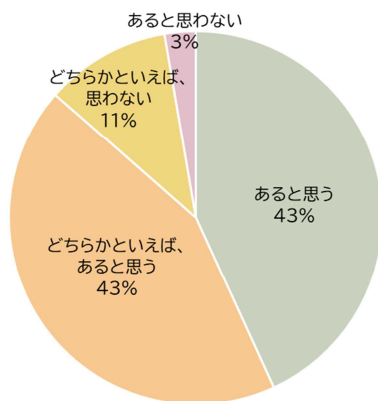
(その他)

- ◆学校の信頼性(現在は校長の独断で決まっていることが多く全く信頼できない)
- ◆学校の方針に賛同と尊敬と尊重をもつ
- ◆家庭での教育のフォローアップ
- ◆不登校になった場合の対応マニュアルの充実と先生向けの勉強会
- ◆発達障害や鬱の生徒に対する理解と学校対応の場
- ◆働いている母親が多く、子供にたくさん時間が割けない中で、親の負担をどう少なくし、子供と接する時間をどう増やせるか
- ◆地域と連携して教育をしていくということ自体のイメージがわからない
- ◆先生、学校の負担を減らす
- ◆行事などを増やして教員を疲弊させないこと
- ◆次期教育ビジョンに「オンラインによる学校公開」の視点

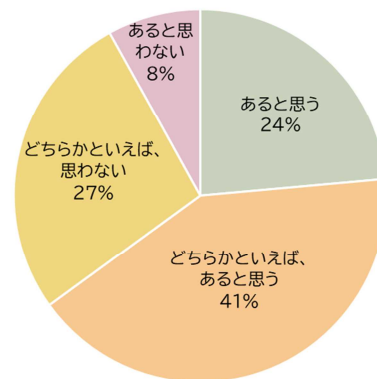
Q7 お子さんの進学については、どのように考えていますか。将来の最終的な進学希望についてお聞かせください。



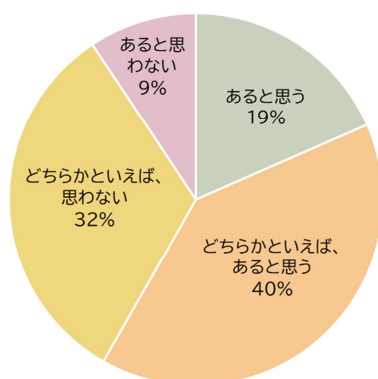
Q8 学校での面談や学力にかかわる調査結果などをもとに、お子さんの学習状況を知り、お子さんと共に学習習慣の定着に向けて取り組む機会がありますか



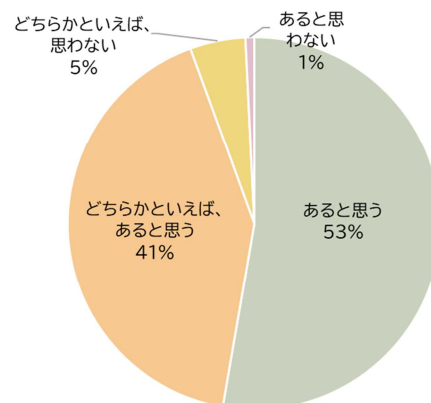
Q9 障害のある子どもに対する理解を深め、障害の有無に関わらず共に生きることを考える機会がありますか



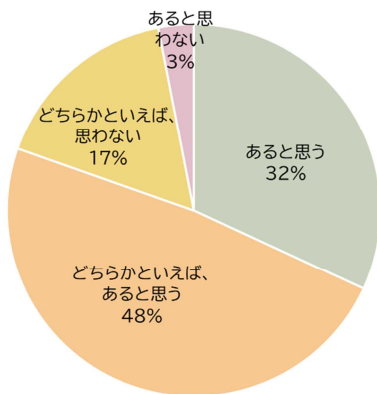
Q10 地域の行事やボランティア活動等に参加するなど、さまざまな体験をとおして、人とのつながりや生命、自然の大切さなどについて、家族で共有する機会がありますか



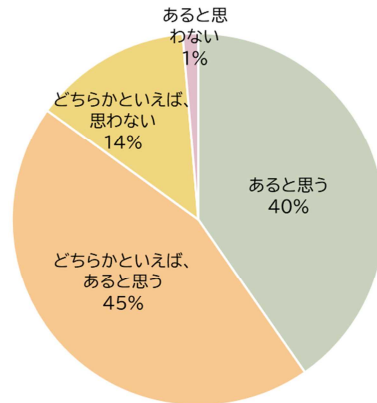
Q11 人に迷惑をかけないことや誰に対しても思いやりを持って接すること、社会のルールやマナーを守ることの大切さを伝える機会がありますか



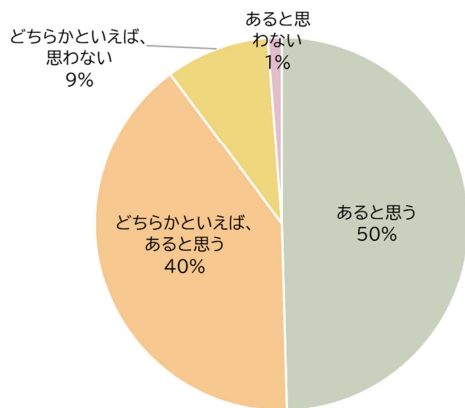
Q12 家庭の中でも省エネルギーやごみの減量等に取り組む機会がありますか



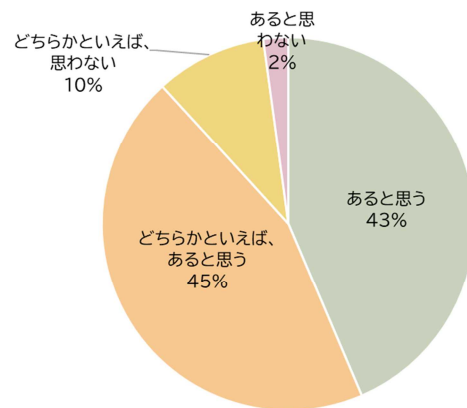
Q13 家庭の中において、お子さんに自分の役割をもたせる機会がありますか



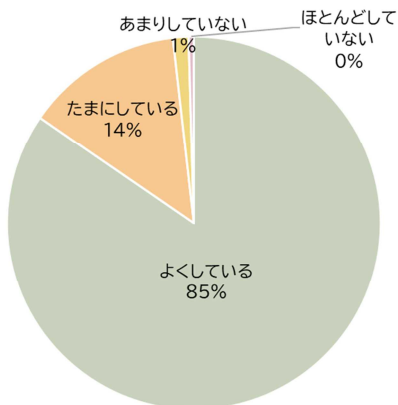
Q14 働くことの大切さをお子さんに伝える機会がありますか



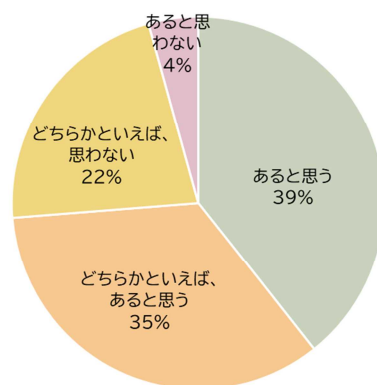
Q15 情報モラルやスマートフォン等の使用ルールなどについて家族で共有する機会がありますか



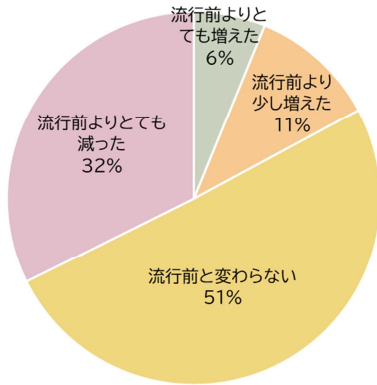
Q16 基本的な生活習慣、食習慣を身に付けさせていますか(朝食を毎日きちんと食べる、夜更かしをしない、手洗いをきちんとする、歯を正しく磨くなど)



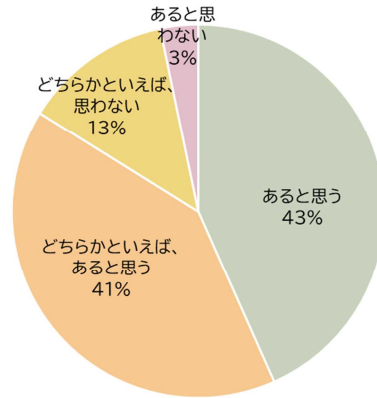
Q17 お子さんと一緒に歩いたり、外で体を動かしたりするなど、お子さんが日常生活の中で運動する機会がありますか



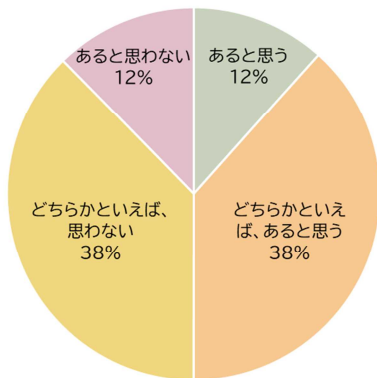
Q18 現在と新型コロナウイルス感染症が流行する前と比べて、お子さんの運動時間（体育の時間を除く）は元の状態に戻りましたか



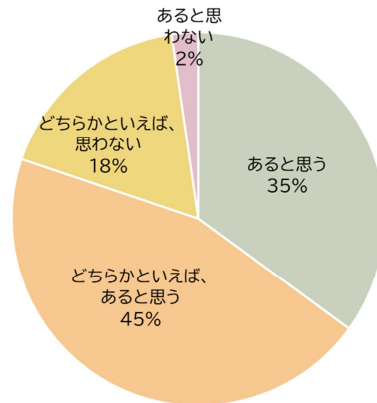
Q19 1日のテレビやゲーム、スマートフォンの時間を決めるなど、家庭におけるルールがありますか



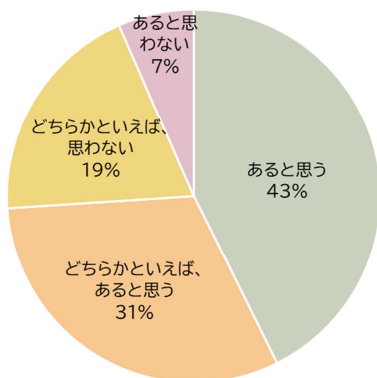
Q20 学校と協働し、子どもたちのための教育環境づくりに携われる機会がありますか



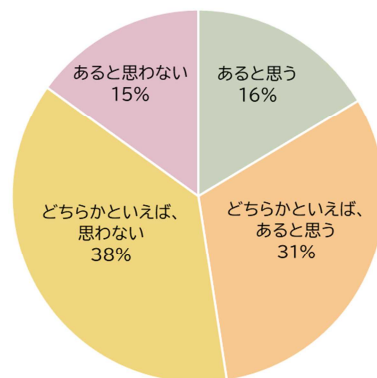
Q21 お子さんと共にさまざまな学びに取り組み、学校では得られない知識を得る楽しさや大切さを教えるため、保護者の持つ経験をお子さんに伝える機会がありますか



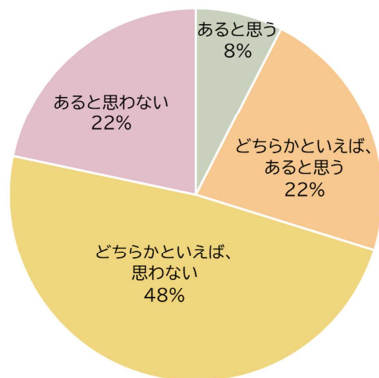
Q22 お子さんが楽しくスポーツをする機会がありますか



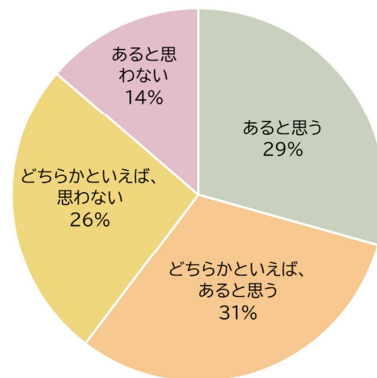
Q23 ご家庭で優れた文化・芸術作品を鑑賞する機会がありますか



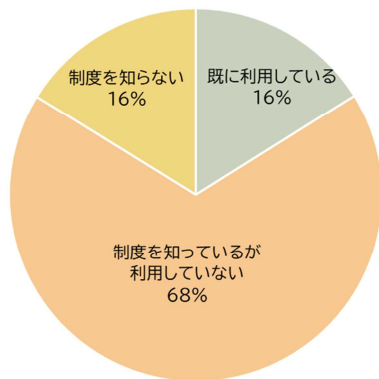
Q24 地域の文化や歴史にふれる機会がありますか



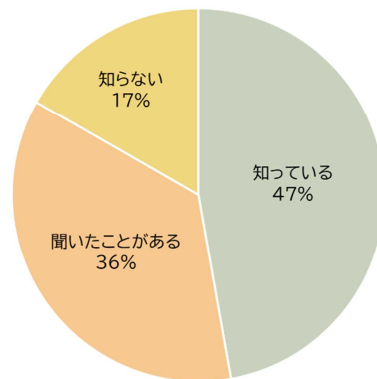
Q25 お子さんには読書の習慣はありますか



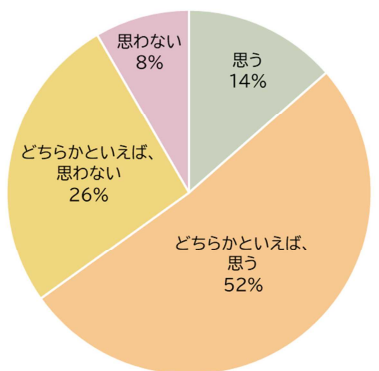
Q26 発達の遅れなど支援を要する子どもについての教育(就学)相談は、就学前の早い段階からの相談もできることを知っていますか



Q27 お子さんの発達状況について不安等がある場合、そのことを相談する所を知っていますか



Q28 通学中の学校では、子ども一人ひとりの特性や発育・発達状況に応じた適切な配慮(サポート)がされていると感じますか



(備考)

グラフの「0%」は、回答数が1以上あるものの、割合が1%に満たないものです。